

## 「トメアス郡と日本の NGO が苗生産のための協定を祝う」

2013年1月16日の午後、トメアス郡農務局(SEMAGRI)及びトメアス郡環境局(SEMMA)が野生生物を調査研究する会(WRS)の代表者らと集まり、コミュニティの苗畑管理のためのパートナーシップについて議論した。

目的はトメアス郡における荒廃地修復のためのアグロフォレストリーを実践するために苗生産を実現することである。

このパートナーシップは特に苗生産、植付けの実施などの社会経済的な問題において、郡の様々な要求に応じ、苗畑を設置するコミュニティに対して、付加価値を付け、収入を生み出す。環境問題もまた考慮され、特に実の生る在来種の苗が生産され、アグロフォレストリーが実践されることにより、郡における荒廃地修復が促進されるであろう。

出席者—環境局長ジョゼ・マリア・フェレイラ、農務局長小長野道則、野生生物を調査研究する会理事今西将行、環境局・WRS職員

